

2008年度 理事会議事録

日時: 2008年9月13日(土)
午後5時15分~午後6時45分
場所: 横浜国立大学経営学・国際開発研究科棟3階306室
出席者: 岡村一成理事長*, 荻野七重副理事長*
井上孝代, 浮谷秀一*, 尾入正哲, 大橋信夫*, 小野浩一, 川本利恵子(第76回大会委員長), 高石光一, 田之内厚三*, 所正文*, 豊村和真, 内藤哲雄*, 藤田圭一*, 松浦常夫*, 松下由美子, 松田浩平*, 向井希宏*, 森下高治, 森脇保彦, 蓮花一己*(50音順, *は常任理事)
(以上21名)
監事: 玉井寛, 藤森立男
委任状: 大淵憲一, 垣本由紀子*, 嘉部和夫, 田中真介, 谷口泰富, 外島裕*, 馬場房子, 星野仁彦, 南隆男*
事務局: 浮谷秀一(事務局長), 伊波和恵(事務局幹事)

1. 報告事項

- (1) 理事長挨拶(岡村理事長)
 - ・第75回大会開催に際しての御礼。
 - ・逝去された名誉会員(内海 澁氏)についての報告。
- (2) 第75回大会委員長挨拶(藤森大会委員長)
 - ・大会の概要について説明があった。
 - ・明日から2日間, 9月14日(日)15日(月)に横浜国立大学において開催される。村本由紀子大会事務局長より, 挨拶があった。
- (3) 事業報告
 - 1) 会員の異動および会費納入状況
(浮谷事務局長)
 - ・3/31現在, 会員数1,150名(内訳: 正会員数1,066名, 学生会員3名, 名誉会員39名, 終身会員38名, 賛助会員4名)。
 - ・9/5現在, 2008年度の会費納入状況は, 62.0%(納入者676名, 未納者410名)である。

2) 委員会報告

①機関誌編集委員会(藤田委員長)

- ・松下由美子氏が外島 裕氏に代わって新委員になった。
- ・第33巻第2号(2007年度)の内容等について説明があった。英文論文3件。
- ・改定された投稿・執筆規程, ならびに編集規程を毎号掲載して周知しているほか, さらにホームページに掲載する予定である。
- ・いづろ投稿するのがよいかについての問い合わせには, 4月末, または10月末を目安にと回答している。
- ・「短報論文」には多くの問い合わせがあり, 投稿件数も増えた。「実践報告」も募集している。

②企画委員会(内藤委員長)

- ・2008年12月14日(日)13時から16時まで公開シンポジウムを企画中である。テーマは「地域の高齢化問題と地域の再活性化(仮題)」。初の試みとして, 東京地区以外の信州大学人文学部(松本市)において開催する。現在は引き続き, 話題提供者, 指定討論者等の調整中である。
- ・大会時研修会については, 次のように実施する。

研修会A: 9月14日(日), 講師は林 潔氏, テーマは「生活の中の認知行動療法」

研修会B: 9月15日(月), 講師は松下由美子氏, テーマは「応用心理学分野における看護学研究の発展のために」

- ・大会時研修会については, 次のように実施する。

③広報委員会(所委員長)

- ・ニューズレターは順調に年2号ペースで発行中であり, 次回のNo.20は11月頃発行予定。
- ・ホームページは, 松田委員が中心になって再構築作業中である。今年度末までには公開開始予定。

④「応用心理士」定審査委員会(浮谷委員長)

- ・2007年度後期2名, 2008年前期2名を認定。
- ・2008年9月1日現在, 認定登録者250名。

⑤国際交流委員会(蓮花委員長)

- ・第27回国際応用心理学会(27th International Congress of Applied Psychology)はオーストラリアのメルボルンで開催される。
- ・会場:メルボルン会議センター(Melbourne Convention Centre)
- ・会期:2010年7月11日-16日
- ・学会サイト URL: www.icap2010.com
- ・申込受付期間:2009年1月1日~12月1日。
- ・取り寄せた大会パンフレットがあるので、第75回大会でも総会時に配布し周知するほか、ニュースレター等を通じて広報を予定している。
- ・今年度中は、第27回国際応用心理学会について、学会企画シンポジウム Invited Symposium の内容等を検討する。テーマは Measures to aging in Japan (日本の高齢社会への対応)を予定している。総会で承認されれば、人選に入る。

⑥若手研究者支援委員会(田之内委員長)

- ・第74回大会時の活動報告があった。院生が責任発表者での発表費全額補助24件、該当者は30名いたが、大会当日窓口へ来たのは24名。事前申請は8件。口頭・ポスター発表全体に占める院生の発表率は28%(第73回大会22%,支援制度ができる前は10~15%)。発表件数は増加傾向にある。
- ・自主シンポジウム等の各種企画における企画責任者への支援4件。
- ・非会員(院生・学部生)の大会当日参加・特別優遇措置11件。
- ・支援制度開始から3年経過し、支援策が発表数の増加につながってはいるが、「事前申請」という原則を周知徹底させるために、下記のことをする。
 - i) Web上の申込みページに、注意を喚起する文を掲載する
 - ii) 4月発送の「第75回大会案内(大会通信)」封筒にチラシ封入。
 - iii) 5月発行の「ニュースレター(No.

19)」で、支援制度利用者の院生の声を紹介。

- iv) 8月発送の「第75回大会プログラム」の中に、「若手研究者支援委員会(日本応用心理学会事務局)からのお知らせ」非会員(学部生・院生)の大会当日参加・特別優遇措置を重点的に掲載。

⑦学会賞選考委員会(荻野委員長)

- ・第一次審査の経緯について説明があった。なお、論文部門の推薦については、14件の返信のみであった。今後多数の推薦を期待したい。
- ・論文部門の受賞者は次のとおりである。(原著) 運転場面におけるリスクテイキング行動の一貫性検証(応用心理学研究 Vol. 32 No. 1) 中井 宏氏・臼井伸之介氏(大阪大学大学院人間科学研究科)
- ・実践活動部門においては、委員会で2件を選出した。第二次審査である常任理事会では、そのうちの1件を選出した。受賞者は次のとおりである。

乳幼児への総合的発達相談活動の実践 長崎純子氏(児童デイサービス「和(なかよし)」施設長・京都発達研究会)

- ・各部門の受賞者が承認され、総会時に表彰されることが確認された。

(4) 2007年度 第74回大会報告

(蓮花大会委員長)

- ・大会収支決算について報告があった。
- ・大会から学会(若手研究者支援基金)に200,000円寄付の申し出があった。

(5) 日本心理学諸学会連合

(岡村理事長・資料説明は垣本常任理事)

- ・6月8日に本年度第1回定例会議が行われ、本学会より、岡村理事長と垣本常任理事が出席した。
- ・その際、市川伸一理事長から、日本心理学会から本年4月以降に認定される「認定心理士」から、“日心連の基礎資格を有する者”として承認されることになったとの報告があった。
- ・「心理学検定(1級・2級)」の進捗状況について報告があった。2008年9月14日

全国5カ所にて開催される。受験予定者は約1,100名。

- 心理職の資格問題について議論された。二資格*一法案をめぐって、資格検討委員会の人員を増加し、再検討した結果を受けて、本理事会で再検討する提案が支持された。

* “なお、二資格とは、医療心理師と臨床心理士とであり、これを一つの法案により国資格として進めていこうという案である。

この際の「臨床心理士」とは、現在の臨床心理士資格認定協会が認定する「臨床心理士」とは異なる。”(巨本常任理事作成資料より抜粋)

(6) その他

- 次期理事選挙の日程概要に関して、浮谷事務局長より、次のように説明があった。9月15日の常任理事会において選挙管理委員会を立ち上げる。11月中旬に郵送による理事選挙実施、12月14日の常任理事会結果報告、理事(36人)を決定、2月中旬に常任理事選挙ならびに理事長選挙実施、3月初旬から中旬に次期体制確定。

2. 審議事項

- 2007年度決算に関する件(浮谷事務局長)
 - 決算について浮谷事務局長より、続いて、監査結果については藤森監事より、それぞれ報告され、承認された(別紙資料参照)。
- 2008年度予算に関する件(浮谷事務局長)
 - 予算について浮谷事務局長より説明があった。一部修正のうえ、承認された。
- 名誉会員推戴に関する件(岡村理事長)
 - 名誉会員規程に基づき大橋信夫氏が推戴された。
- 2010年度第77回大会委員長(大会当番機関)に関する件(岡村理事長)
 - 田中真介先生(京都大学)を大会委員長に決定した。京都大学または京都市内にて開催で調整中。

3. 2009年度第76回大会委員長挨拶

(川本大会委員長)

- 9月12日(土)13日(日)に九州大学病院地区(JR鹿児島本線「吉塚」,地下鉄「九大病院前」,県庁前)において開催予定である。

※今後の常任理事会の開催については、9月15日昼休み、12月14日(日)公開シンポジウム開催前に予定。

※総会は9月14日(日)昼休みに行われる。

2008年度総会議事録

日時: 2008年9月14日(日)

午後12時~午後1時

場所: 横浜国立大学教育人間科学部6号館

1階101教室

1. 報告事項

(1) 理事長挨拶(岡村理事長)

- 第74回大会開催に際しての御礼。
- 逝去された名誉会員(内海 滉氏)についての報告。

(2) 第75回大会委員長挨拶(藤森大会委員長)

- 大会概要について説明があった。

(3) 事業報告

1) 会員の異動および会費納入状況

(浮谷事務局長)

- 3/31現在、会員数1,150名(内訳:正会員数1,066名,学生会員3名,名誉会員39名,終身会員38名,賛助会員4名)。

- 9/5現在、2008年度の会費納入状況は、62.0%(納入者676名,未納者410名)である。

2) 委員会報告

①機関誌編集委員会(藤田委員長)

- 松下由美子氏が外島 裕氏に代わって新委員になった。

- 第33巻第2号(2007年度)の内訳等について説明があった。英文論文3件。

- 改定された投稿・執筆規程,ならびに編集規程を毎号掲載して周知しているほか,さらにホームページに掲載する予定である。

- いづろ投稿するのがよいかについての問い合わせには,4月末,または10月末を目安にと回答している。

- ・「短報論文」には多くの問い合わせがあり、投稿件数も増えた。「実践報告」も募集している。

②企画委員会（内藤委員長）

- ・2008年12月14日（日）13時から16時まで公開シンポジウムを企画中である。テーマは「地域の高齢化問題と地域の再活性化（仮題）」。初の試みとして、東京地区以外の信州大学人文学部（松本市）において開催する。現在は引き続き、話題提供者、指定討論者等の調整中である。

- ・大会時研修会については、次のように実施する。

研修会 A：9月14日（日）、講師は林 潔氏、テーマは「生活の中の認知行動療法」

研修会 B：9月15日（月）、講師は松下由美子氏、テーマは「応用心理学分野における看護学研究の発展のために」

③広報委員会（所委員長）

- ・ニュースレターは順調に年2号ペースで発行中であり、次回のNo.20は11月頃発行予定。
- ・ホームページは、松田委員が中心になって再構築作業中である。今年度末までには公開開始予定。

④「応用心理士」認定審査委員会（浮谷委員長）

- ・2007年度後期2名、2008年前期2名を認定。
- ・2008年9月1日現在、認定登録者250名。

⑤国際交流委員会（蓮花委員長）

- ・第27回国際応用心理学会(27th International Congress of Applied Psychology)はオーストラリアのメルボルンで開催される。
- ・会場：メルボルン会議センター(Melbourne Convention Centre)
- ・会期：2010年7月11日～16日
- ・学会サイト URL：www.icap2010.com
- ・申込受付期間：2009年1月1日～12月1日。
- ・取り寄せた大会パンフレットがあるので、

第75回大会でも総会時に配布し周知する他、ニューズレター等を通じて広報を予定している。

- ・今年度中は、第27回国際応用心理学会について、学会企画シンポジウム Invited Symposium の内容等を検討する。テーマは Measures to aging in Japan（日本の高齢社会への対応）を予定している。総会で承認されれば、人選に入る。

⑥若手研究者支援委員会（田之内委員長）

- ・第74回大会時の活動報告があった。院生が責任発表者での発表費全額補助24件、該当者は30名いたが、大会当日窓口へ来たのは24名。事前申請は8件。口頭・ポスター発表全体に占める院生の発表率は28%（第73回大会22%、支援制度ができる前は10～15%）。発表件数は増加傾向にある。

- ・自主シンポジウム等の各種企画における企画責任者への支援4件。

- ・非会員（院生・学部生）の大会当日参加・特別優遇措置11件。

- ・支援制度開始から3年経過し、支援策が発表数の増加につながってはいるが、「事前申請」という原則を周知徹底させるために、

i) Web上の申込みページに、注意を喚起する文を掲載する。

ii) 4月発送の「第75回大会案内(大会通信)」封筒にチラシ封入。

iii) 5月発行の「ニュースレター(No.19)」で、支援制度利用者の院生の声を紹介。

iv) 8月発送の「第75回大会プログラム」の中に、「若手研究者支援委員会(日本応用心理学会事務局)からのお知らせ」非会員(学部生・院生)の大会当日参加・特別優遇措置を重点的に掲載。

⑦学会賞選考委員会（荻野委員長）

- ・第一次審査の経緯について説明があった。なお、論文部門の推薦については、14件の返信のみであった。今後多数の推薦を期待したい。

- ・論文部門の受賞者は次のとおりである。
(原著) 運転場面におけるリスクテイキング行動の一貫性検証(応用心理学研究 Vol. 32 No. 1) 中井 宏氏・臼井伸之介氏(大阪大学大学院人間科学研究科)
 - ・実践活動部門においては、委員会で2件を選出した。第二次審査である常任理事会では、そのうちの1件を選出した。受賞者は次のとおりである。
 - ・乳幼児への総合的発達相談活動の実践長崎純子氏(児童デイサービス「和(なかよし)」施設長・京都発達研究会)
 - ・各部門の受賞者が承認され、総会時に表彰されることが確認された。
- (4) 2007年度 第74回大会報告
(蓮花大会委員長)
- ・大会収支決算について報告があった。
 - ・大会から学会(若手研究者支援基金)に200,000円寄付の申し出があった。
- (5) 日本心理学諸学会連合
(岡村理事長・資料説明は垣本常任理事)
- ・6月8日に本年度第1回定例会議が行われ、本学会より、岡村理事長と垣本常任理事が出席した。
 - ・その際、市川伸一理事長から、日本心理学会から本年4月以降に認定される「認定心理士」から、“日心連の基礎資格を有する者”として承認されることになったとの報告があった。
 - ・「心理学検定(1級・2級)」の進捗状況について報告があった。2008年9月14日全国5カ所にて開催される。受験予定者は約1,100名。
 - ・心理職の資格問題について議論された。二資格*一法案をめぐって、資格検討委員会の人員を増加し、再検討した結果を受けて、本理事会で再検討する提案が支持された。
- * “なお、二資格とは、医療心理師と臨床心理士とであり、これを一つの法案により国資格として進めていこうという案である。この際の「臨床心理士」とは、現在の臨床心理士資格認定協会が認定する「臨床心理士」とは異なる。”(垣本常任理事作成資料より抜粋)
- (6) その他
- ・次期理事選挙の日程概要に関して、浮谷事務局長より、次のように説明があった。9月15日の常任理事会において選挙管理委員会を立ち上げる。11月中旬に郵送による理事選挙実施、12月14日の常任理事会結果報告、理事(36人)を決定、2月中旬に常任理事選挙ならびに理事長選挙実施、3月初旬から中旬に次期体制確定。
2. 審議事項
- (1) 2007年度決算に関する件(浮谷事務局長)
- ・決算について浮谷事務局長より、続いて、監査結果については藤森監事より、それぞれ報告され、承認された(別紙資料参照)。
- (2) 2008年度予算に関する件(浮谷事務局長)
- ・予算について浮谷事務局長より説明があった。一部修正のうえ、承認された。
- (3) 名誉会員推戴に関する件(岡村理事長)
- ・名誉会員規程に基づき大橋信夫氏が推戴された。
- (4) 2010年度第77回大会委員長(大会当番機関)に関する件(岡村理事長)
- ・田中真介先生(京都大学)を大会委員長に決定した。京都大学または京都市内にて開催で調整中。
3. 2009年度第76回大会委員長挨拶
(川本大会委員長)
- ・9月12日(土)13日(日)に九州大学病院地区(JR鹿児島本線「吉塚」,地下鉄「九大病院前」,県庁前)において開催予定である。
- 2008年度 第4回常任理事会議事録**
- 日 時: 2008年9月15日(月)
午後12時05分~午後12時50分
- 場 所: 横浜国立大学 6号館2階・210講義室
- 出席者: 岡村一成理事長, 荻野七重副理事長
浮谷秀一, 大橋信夫, 川本利恵子(第76回大会委員長), 田之内厚三, 所 正文, 内藤

哲雄, 藤田主一, 藤森立男 (第 75 回大会委員長), 松浦常夫, 松田浩平, 向井希宏, 蓮花一己 (以上 14 名)

委任状: 垣本由紀子, 南 隆男

事務局: 事務局 浮谷秀一 (事務局長), 伊波和恵 (事務局幹事)

1. 報告事項

(1) 理事長挨拶 (岡村理事長)

- ・第 75 回大会開催への御礼

(2) 委員会報告

1) 機関誌編集委員会 (藤田委員長)

- ・第 33 巻第 2 号 (2007 年度) の発行は理事会ならびに総会で報告のとおりである。他のことは審議事項にて提案する。

2) 企画委員会 (内藤委員長)

- ・2008 年 12 月 14 日 (13 時から 16 時まで) に公開シンポジウムを企画中である。テーマは「地域の高齢化問題と地域の活性化 (仮題)」。初の試みとして, 東京地区以外の信州大学人文学部 (松本市) において開催する。

3) 広報委員会 (所委員長)

- ・理事会ならびに総会時の報告のとおりである。

4) 「応用心理士」認定審査委員会 (浮谷委員長)

- ・理事会ならびに総会時の報告のとおりである。

5) 国際交流委員会 (蓮花委員長)

- ・第 27 回国際応用心理学会 27th International Congress of Applied Psychology オーストラリア (メルボルン) での大会について, 取り寄せた大会パンフレットがあるので, 第 75 回大会でも総会時に配布した。今後もニュースレター等を通じて広報予定である。
- ・オーストラリア (メルボルン) での学会企画シンポジウム Invited Symposium について, テーマは Measures to aging in Japan (日本の高齢社会への対応) というところで総会の承認を得たので, 具体的な人選に入り, 今年度末までに決定する。

6) 若手研究者支援委員会 (田之内委員長)

- ・今回大会での実績については, 次回, 常任理事会で報告する。

7) 学会賞選考委員会 (荻野委員長)

- ・9 月 14 日の総会において受賞者が表彰された。

(3) 日本心理学諸学会連合報告

(岡村理事長)

- ・心理学検定について, 昨日, おおむね滞りなく終了した旨, 報告があった。(若干のトラブルによる遅延参加者があった。)

(4) 2008 年度第 75 回大会委員長について

(藤森大会委員長)

- ・大会概要について説明があった。滞りなく進行中である。

(5) 2009 年度第 76 回大会について

(川本大会委員長)

- ・大会日程について, もしも日本心理学会大会等と重なったときには, 日程変更が可能かどうかという質問があった。来週末の日心大会での日程公表を待って調整することとなった。

(6) その他

- ・逝去された名誉会員 (内海 滉氏) の追悼記事寄稿について, 編集委員会では, 機関誌に掲載する追悼記事の執筆を松永保子氏 (信州大学) に依頼, 内諾頂いた。ニュースレターにも, 事務局から訃報として記事を掲載。

3. 審議事項

(1) 選挙に関する件 (浮谷事務局長)

- ・選挙管理委員会の結成にあたり, 規程により浮谷事務局長を選挙管理委員長とした。委員として荻野七重氏, 高石光一氏, 森脇保彦氏, 鎌形みや子氏を任命した。
- ・次期理事選挙の日程概要に関して, 浮谷事務局長より, 次のように説明があった。本日の常任理事会において選挙管理委員会を立ち上げた。11 月 25 日 (火) を投票締切日 (必着) とし, 11 月 28 日 (金) 選挙開票, 理事 (24 人) を選出。12 月 14 日 (日) 常任理事会において結果報告を行う

とともに、推薦枠の理事(12人)も決定する。2月中旬に常任理事選挙ならびに理事長選挙実施、3月初旬～中旬に次期体制確定。未定の日程は調整のうえ、確定後に連絡する。

(2) 機関誌編集に関する件(藤田委員長)

- ・資料を配布し、説明した。

(3) 新入会員審査および会員異動に関する件

(浮谷事務局長)

- ・次の新入会希望者について審査し、承認された
猪木省三
- ・9/10現在、会員数1,162名(内訳:正会員数1,078名,学生会員3名,名誉会員38名,終身会員38名,賛助会員5名)。
本日入会を承認された会員も、会費を速やかに納入すれば、選挙権を得ることを確認した。

* 次回の常任理事会については、12月14日(日)公開シンポジウム前に開催予定。

2008年度 第5回常任理事会議事録

場 所: 2008年12月14日(日)

午後11時30分～午後12時50分

場 所: 信州大学人文学部・経済学部共通棟
2階会議室

出席者: 岡村一成理事長, 荻野七重副理事長
浮谷秀一, 大橋信夫, 垣本由紀子, 所正文,
内藤哲雄, 藤田主一, 松浦常夫, 南隆男,
向井希宏, 蓮花一己(以上, 12名)

委任状: 川本利恵子, 田之内厚三, 松田浩平

事務局: 浮谷秀一(事務局長), 伊波和恵(事務局幹事)

1. 報告事項

(1) 理事長挨拶(岡村理事長)

- ・初めての地方開催となった、公開シンポジウム開催の御礼。
- ・垣本由紀子常任理事が叙勲された。

(2) 委員会報告

1) 機関誌編集委員会(藤田委員長)

- ・第34巻第1号(2008年度)の発行は次のとおり:原著3, 短報5, 2009年1月末を

予定。

- ・投稿状況は、12月13日現在、総説0, 原著12(うち2本は不採択決定), 資料1, 短報8件(うち英文2), 実践0。

- ・応用心理学研究(国際応心英文特集号)の編集状況はシンポジウム1, 原著1, 資料10, すべて審査済み。

2) 企画委員会(内藤委員長)

- ・本日, 2008年12月14日(13時～16時)に公開シンポジウムを開催: テーマ「地域の高齢化問題と地域の再活性化」。信州大学人文学部において開催。

3) 広報委員会(所委員長)

- ・ニュースレターは11月中旬に既刊, 次回, 4月に発行予定。
- ・学会ホームページの改訂版は国士舘大学大学院の雨森氏が作成, 公開準備中である。
- ・Web入会ができるようにできないかとの要望について, 検討することとなった。

4) 「応用心理士」認定審査委員会(浮谷委員長)

- ・受付期間を延長して, 後期は1名。
- ・3年で7名の認定があったが, 今後, 啓蒙が必要ではとの提案があった。

5) 国際交流委員会(蓮花委員長)

- ・第27回国際応用心理学会(オーストラリア・メルボルン)での学会企画シンポジウムInvited Symposiumについて, 委員会で検討中である。テーマは「Measures to aging in Japan(日本の高齢社会への対応; 仮題)」, 3月中旬に内容をかためて, 5月に事務局に申請する。来年度, 広報を展開する予定である。

6) 若手研究者支援委員会(代理: 浮谷事務局長)

- ・田之内委員長作成の報告書に基づき, 次のように報告があった。75回大会(横浜国立大学)での若手研究支援においては, 自主ワークショップの補助1, 研究発表補助37, 非会員(当日参加)4, 補助金の総額は139,000円であった。院生の大会参加者は66名。院生による発表件数は35.4%(前年は28.6%)。

- 7) 学会賞選考委員会(荻野委員長)
- ・次回, 常任理事会までに委員会を開催し, 引継準備をする予定である。
- (3) 日本心理学諸学会連合報告(垣本委員長)
- ・12月中に定期常任理事会が予定されている。
- (4) 2008年度第75回大会について
(代理: 浮谷事務局長)
- ・次回, 大会報告をする予定。
- (5) 2009年度第76回大会について
(代理: 浮谷事務局長)
- ・川本大会準備委員長からの連絡について以下のとおり報告があった。
大会日程は9月12日(土)・13日(日)。特別講演の2題が次のように決定した。足達淑子先生(あだち健康行動学研究所・所長)「健康管理のための行動療法(仮題)」, 池口恵観先生(高野山大学・非常勤講師)「医療におけるスピリチュアルケア(仮題)」。
懇親会場はIPホテルを予定している。
- (6) その他
- ・日本マイクロカウンセリング学会発足記念の学術大会(大会テーマ:「人間の精神的健康への援助」)におけるシンポジウム開催について, 福原真知子学会長(本学会名誉会員)より, 学会としての後援の要請があり, 検討の結果, 承認した。本シンポジウム「心理教育実践におけるマイクロカウンセリングの意義と活用」は, 3月21日(土)・22日(日)13時~16時, アルカディア市ヶ谷において開催予定である。
2. 審議事項
- (1) 役員選挙に関する件(浮谷選挙管理委員長)
- ・開票結果の概要について, 次のように報告された。
有権者数893通(1通返送), 投票総数166通, 有効投票160通, 無効投票6通(規定外2通, 期限後着4通)。投票総数については, 理事選挙800票, 監事選挙160票。
 - ・理事選挙の当選者ならびに承諾者は以下のとおり, 24名である: 藤田主一, 浮谷秀一, 木村友昭, 森下高治, 岡村一成, 久我隆一, 所正文, 大坊郁夫, 荻野七重, 内藤哲雄, 松田浩平, 蓮花一己, 森脇保彦, 田之内厚三, 細江達郎, 齋藤勇, 川本利恵子, 蜂谷真, 玉井寛, 藤森立男, 井上孝代, 谷口泰富, 大淵憲一, 向井希宏。
- (2) 機関誌編集に関する件(藤田委員長)
- ・応用心理学研究(国際応心英文特集号)を34巻(特集号)とすることとした。
 - ・次期の機関誌編集委員会, 機関誌編集事務局のあり方について, 提案があったうち, 今回は専門領域の見直しについてのみ審議され, 次のように決定した。①原理・認知・感情, ②教育・発達・人格, ③臨床・福祉・相談, ④健康・看護・医療, スポーツ, ⑤犯罪・社会・文化, ⑥産業・交通・災害。なお, その他については次回に審議することになった。
- (3) 新入会員審査および会員異動に関する件
(浮谷事務局長)
- ・12/10現在, 会員数1,160名(内訳: 正会員数1,074名(退会6名), 学生会員3名, 名誉会員40名, 終身会員38名, 賛助会員5名)。
 - ・7名の入会希望者を審議の結果承認した。鈴木俊太郎 伊藤英之 山崎徳子 齋藤雅英 渡辺るい子 大日方隆子 谷口幸一
- ※次回の常任理事会は, 2009年3月6日

(金) 18:00 から東京富士大学において開催予定。選挙の進行状況によっては、3月7日(土)に変更することも考慮に入れる。

2008年度 第6回常任理事会議事録

日 時: 2009年3月6日(金)

午後5時40分~午後7時

場 所: 東京富士大学 本館地下1階 第1会議室

出席者: 岡村一成理事長, 荻野七重副理事長

浮谷秀一, 垣本由紀子, 川本利恵子(第76回大会委員長を兼ねる), 所 正文, 内藤哲雄, 藤田圭一, 松田浩平, 南 隆男, 向井希宏, 藤森立男(第75回大会委員長)

(以上12名)

委任状: 大橋信夫, 田之内厚三, 松浦常夫, 蓮花一己

事務局: 浮谷秀一(事務局長), 伊波和恵(事務局幹事)

1. 理事長挨拶

(1) 報告事項

(2) 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会(藤田委員長)

- 第34巻第1号の内容と作業状況について説明があった: 原著4本, 短報7本, シンポジウム1, 特集1, 追悼1, 事務局日より等。
- 応用心理学研究への投稿状況について説明があった(3/6現在): 総説2本, 原著9本(うち, 不採択1, 取り下げ1), 資料3本, 短報4本(うち, 英文1), 実践2, 特集3(第75回大会関係)。
- 応用心理学研究(国際応心英文特集号)は, 応用心企画シンポジウム1, 原著論文1(審査済), 資料論文10(審査済)という内容で印刷中である。

2) 企画委員会(内藤委員長)

- 大会時研修会については, 次の内容で企画している。

研修A(1日目)

「応用心理学研究における統計処理の諸問題」講師: 大村政男氏(日本大学名誉教授), 司会: 藤田圭一(日本体育大学教授)。

研修B(2日目)

「災害救助者の惨事ストレス対策」講師: 田之内厚三氏(麻布大学教授), 司会: 藤森立男(横浜国立大学教授)。

3) 広報委員会(所委員長)

- 次号のニュースレターには, 新旧役員体制の特集などを掲載し, 発行予定である。
- ホームページの新装作業は, 最終的なサーバ移行段階であり, 間もなく公開予定である。

4) 「応用心理士」認定審査委員会

(浮谷委員長)

- 現在2人の手続き中である。今年度は4人を認定した。
- 広報活動については, 今後の課題とする。

5) 国際交流委員会(代理: 内藤委員)

- 国際応用心の学会企画シンポジウムについて14日の会議で提出原稿について打合せの予定である。
- この企画については, 開催大学在籍のカシマ氏(メルボルン大学教授)に協力依頼をし, 快諾いただいている。

6) 若手研究者支援委員会

(代理: 川本第76回大会委員長)

- 若手研究者への学会大会参加支援制度については, 次大会でも適用の予定であるが, 今後, 田之内委員長にも確認する。

7) 学会賞選考委員会(荻野委員長)

- 第1回目の新方式での選考・授与を終えて, 委員会内で総括した。その結果に基づき, いくつかの改善を審議事項として提案する。

(3) 日本心理学諸学会連合報告(垣本理事)

- 2008年9月実施の第1回心理学検定を終了し, 総括が行われた。受検申込者1,335名, 受検者1,210名, 合格率62%。746名合格(1級・383名, 2級・363名), 464名不合格。
- 来年度, 第2回目の実施は8月23日(日)全国8会場にて実施予定。
- ながらく懸案事項となっていた「2資格1法案」(臨床心理士・医療心理師)の提出について承認された。

- ・学会からの検定協力委員（問題作成・運営等）については、藤田主一氏が選出された。

(4) 2008 年度第 75 回大会について

(藤森大会委員長)

- ・大会の参加者数等について、報告があった。
大会参加者 295 名、発表者 192 名、自主ワークショップ 4 件、懇親会参加者 124 名、研修会参加者 55 名。

(5) 2009 年度第 76 回大会について

(川本大会委員長)

- ・大会通信（案）に基づいて、大会概要と作業状況についての説明があった。

2009 年 9 月 12, 13 日に九州大学・病院地区キャンパス（コラボステーション I・II）において開催予定。大会企画シンポジウム「健康を支援する応用心理学」（企画・司会者：川本利恵子氏（九州大学教授）、発表者：田中真介氏（京都大学准教授））、大会企画ワークショップ A「実践教育（臨床実習）における学生への心理的サポート（仮題）」（企画・司会者：森田敏子氏（熊本大学教授）、発表者：松永保子（信州大学教授）、多久島寛孝（熊本保健科学大学教授））、B「医療現場とリスクマネジメント」（企画・司会者：中尾久子（九州大学教授）、発表者：安藤詳子（名古屋大学教授）、松下由美子（山梨県立大学教授））、特別講演 A「医療におけるスピリチュアルケア」（講演者：池口恵観（最福寺法主））、B「医療における行動療法：アドヒアランス（患者行動）改善のために」（講演者：足立淑子（あだち行動科学研究所所長））、企画委員会企画研修会、懇親会など。

(6) その他

- ・故 内海渥名誉会員の音楽葬が 4 月 5 日（日）14 時から行われることについて案内があった。

2. 審議事項

(1) 役員選挙に関する結果報告（浮谷事務局長）

- ・常任理事選挙の有権者数 36 通、有効返信総数 34 通、投票総数 418 票。
- ・当選者ならびに得票数順については、別紙資料のとおりである。

- ・3 月 6 日に行われた出席者 11 名による理事長選出選挙の結果、森下高治氏が新理事長に当選されたことが報告された。常任理事会は承認した。開票結果は次のとおりである。

森下高治 (7)、内藤哲雄 (3)、谷口泰富 (1)。

- ・新副理事長には、互選により、藤田主一氏が選出されたことが報告され、承認した。

(2) 学会賞に関する件（荻野委員長）

- ・「日本応用心理学会学会賞規程」の第 3 条について、“社会的実践活動を行っている会員”を“実践活動”と変更することが提案され、承認した。

- ・「選考細則」については、変更しないことにした。

- ・「学会賞」候補推薦依頼状に、実践活動については、活動内容を表す活動名を付すことを求める。また、その判断材料としての詳細資料、客観的な成果、それに関する記載のある資料の別添を求めることを確認した。

- ・推薦書については、所定の用紙での提出を求めることを確認した。

- ・その他の点は、新体制で検討することにした。

(3) 機関誌編集に関する件（藤田委員長）

- ・「日本応用心理学会機関誌編集委員会規程」中、第 2 条・定数について、13 名と改定することが提案され承認した。

- ・投稿者は原稿を投稿するときに、6 つの専門分門のいずれかを選んで投稿することになった。

(4) 終身会員に関する件（浮谷事務局長）

終身会員への申請のあった 1 名について審議し、承認した。

石川雄三

(5) 新入会員審査および会員異動に関する件

(浮谷事務局長)

- ・新入会員申込みのあった 13 名について審議の結果、全員を承認した。

坂本 充 仲村尚子 山城久美子 赤川力 金 成恩 赤坂瑠以 寺山雄三 江健一 副島永之 川浪淑子 鈴木悠介 平

田裕美 堀内愛子

- 3/5 現在, 会員数 1,163 名 (内訳: 正会員数 1,077 名, 学生会員 3 名, 名誉会員 40 名, 終身会員 38 名, 賛助会員 5 名)。入会者 7 名, 退会者 4 名。

(6) その他

- 岡村理事長ならびに荻野副理事長より, 任期終了の挨拶があった。

- 事務局長から各委員長へ, 今年度の決算報告ならびに来年度の事業計画および予算案を事務局長まで提出するように要請があった。

※次回の常任理事会は, 2009 年 4 月 17 日 (金) 午後 6 時から東京富士大学で開催される予定である。

日本応用心理学会 2007 年度決算書

(2007 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日)

収 入			支 出		
項 目	決算額	予算額	項 目	決算額	予算額
会費	5,609,000	5,760,000	第 74 回大会補助費	700,000	700,000
過年度分 (91 名)	548,000	480,000	学会賞	—	—
本年度分* (844 名)	5,061,000	5,280,000	心理学諸学会連合会費	90,000	90,000
*学生会員 1 名含む			シンポジウム・講演費謝金	30,000	200,000
賛助会費	30,000	30,000	研修会講師謝金	60,000	100,000
「応用心理士」関係	80,000	600,000	国際交流費	0	250,000
審査料	20,000	150,000	「応用心理士」関係経費	41,400	200,000
認定料	60,000	450,000	委員会活動費	537,880	1,150,000
機関誌売り上げ			機関誌編集委員会	236,950	350,000
雑収入	353,827	500,000	企画委員会	272,230	300,000
前年度繰越金	3,770,799	2,500,000	広報委員会	17,440	200,000
			国際交流委員会	0	150,000
			若手研究者支援委員会	11,260	50,000
			学会賞選考委員会	—	—
			倫理委員会	0	100,000
			印刷費	1,287,430	1,800,000
			機関誌	973,560	1,500,000
			広報関係	226,248	200,000
			その他	87,622	100,000
			通信費	454,550	650,000
			機関誌郵送費	117,440	200,000
			広報関係郵送費	140,320	200,000
			その他	196,790	250,000
			常任理事交通費	249,780	400,000
			事務局運営費	375,989	700,000
			事務局委託費	736,742	800,000
			名簿作成積立金	500,000	500,000
			特別企画積立金	1,500,000	500,000
			予備費	161,990	1,350,000
			次年度繰越金	3,117,865	0
合 計	9,843,626	9,390,000	合 計	9,843,626	9,390,000

《別途会計》

1. 名簿作成積立金

2006 年度繰越金 1,000,000

2007 年度積立金 500,000

1,500,000

2. 特別企画積立金

2006 年度繰越金 3,000,000

2007 年度積立金 1,500,000

4,500,000

3. 若手育成基金

2006 年度繰越金 1,921,378

第 74 回大会から寄付 200,000

2007 年度支援金 -174,000

1,947,378

以上のとおり相違ありません。

平成 20 年 7 月 31 日

平成 20 年 7 月 31 日

監事

監事

藤森立男 ㊞

玉井 寛 ㊞

日本応用心理学会 2008 年度予算案

(2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日)

収 入			支 出			
項 目	予算額		前年度予算額	項 目	予算額	前年度予算額
会費	5,760,000		5,760,000	第 75 回大会補助費	700,000	700,000
過年度分	480,000	80 名	480,000	学会賞	100,000	—
本年度分	5,280,000	880 名	5,280,000	心理学諸学会連合会費	90,000	90,000
賛助会費	30,000		30,000	シンポジウム・講演費謝金	200,000	200,000
「応用心理士」関係	400,000		600,000	研修会講師謝金	100,000	100,000
審査料	100,000		150,000	国際交流費	100,000	250,000
認定料	300,000		450,000	「応用心理士」関係経費	200,000	200,000
その他	0			委員会活動費	1,050,000	1,150,000
機関誌売り上げ	500,000			機関誌編集委員会	350,000	350,000
雑収入	20,000		500,000	企画委員会	300,000	300,000
前年度繰越金	2,500,000		2,500,000	広報委員会	100,000	200,000
				国際交流委員会	100,000	150,000
				若手研究者支援委員会	50,000	50,000
				学会賞選考委員会	50,000	—
				倫理委員会	100,000	100,000
				印刷費	1,800,000	1,800,000
				機関誌	1,500,000	1,500,000
				広報関係	200,000	200,000
				その他	100,000	100,000
				通信費	650,000	650,000
				機関誌郵送費	200,000	200,000
				広報関係郵送費	200,000	200,000
				その他	250,000	250,000
				常任理事交通費	400,000	400,000
				事務局運営費	700,000	700,000
				事務局委託費	800,000	800,000
				役員選挙関係 (通信費他含む)	500,000	—
				名簿作成積立金	500,000	500,000
				特別企画積立金	500,000	500,000
				予備費	820,000	1,350,000
				次年度繰越金	0	0
小 計	9,210,000		9,390,000	小 計	9,210,000	9,390,000

《別途会計》

1. 名簿作成積立金	
2007 年度繰越金	1,500,000
2008 年度積立金	500,000
	<u>2,000,000</u>

2. 特別企画積立金	
2007 年度繰越金	4,500,000
2008 年度積立金	500,000
	<u>5,000,000</u>

3. 若手育成基金	
2007 年度繰越金	1,947,378
2008 年度支援金	-300,000
	<u>1,647,378</u>

日本応用心理学会第74回大会決算書

収 入		支 出	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
大会参加費	1,276,000	学会事務委託関係	1,849,657
(内訳) 正会員 (予約 5,000×118)	590,000	当初見積もり	1,824,657
正会員 (予約 6,000×3)	18,000	(内訳)	
正会員 (当日 6,000×48)	288,000	印刷費	
院生 (予約 2,000×37)	74,000	発送費	
院生 (当日 3,000×11)	33,000	広告関連代行	
非会員 (予約 6,000×13)	78,000	受付・庶務業務費用	
非会員 (当日 7,000×18)	126,000	システム関連費	
非会員(学生) (予約 3,000×2)	6,000	消費税	
非会員(学生) (当日 3,500×18)	63,000	(追加) (心研社版下・案内図・ 当日参加証兼領収書)	25,000
発表費	837,000	講師謝礼	140,000
(内訳) 正会員・名誉 5,000×112 (予約 100+当日 12)	560,000	(内訳) エスコ氏	50,000
院生 (29+4) 3,000×33	99,000	パネリスト 3 名	90,000
非会員 (13+4) 10,000×17	170,000	(木下・北川・釘原)	
非会員学生 8,000×1	8,000	大会事務局事務員謝礼	783,800
自主ワークショップ	22,000	学生協力謝礼	425,000
(内訳) 正会員 5,000×2	10,000	アルバイト学生交通費	43,810
院生 3,000×4	12,000	消耗品費	70,838
論文集代	328,000	リース代 (パネル)	286,860
(内訳) 正会員 (予約 5,000×25)	125,000	ポスター作成費	70,350
正会員 (当日 6,000×11)	66,000	理事会費	288,319
院生 (予約 5,000×10)	50,000	懇親会費 (ホテル代)	879,769
院生 (当日 6,000×1)	6,000	懇親会費 (酒代)	11,280
名誉会員 (予約 5,000×3)	15,000	懇親会 (バス代)	123,100
非会員 (当日 6,000×11)	66,000	総会費 (弁当代)	180,210
懇親会費	506,000	渉外費	15,481
(内訳) 正会員 (予約 7,000×32)	224,000	準備委員会運営費	283,814
正会員 (当日 8,000×21)	168,000	郵送費・手数料	38,340
院生 (予約 3,000×9)	27,000	コピー機リース代	71,114
院生 (当日 4,000×18)	72,000	警備員人件費	25,998
同伴者 (5,000×3)	15,000	日曜日ガードマン 2 名 (8:00～17:00)	
研修会費	29,000	返金分 (参加者過払いの返金)	19,000
(内訳) 正会員 (予約 500×36)	18,000	寄付 学会 (若手研究者支援分)	200,000
正会員 (当日 1,000×8)	8,000		
非会員 (当日 1,500×2)	3,000		
広告費	590,000		
協賛費・寄付費	918,740		
学会本部補助	700,000		
理事会本部補助	100,000		
本学補助	500,000		
合 計	5,806,740	合 計	5,806,740

以上の通り報告いたします。

2008年5月16日

大会委員長

蓮花一己 ㊞

役員選挙結果

選挙管理委員会委員長 浮谷 秀一

2008年10月から役員選挙が実施されました。

有権者（2008年9月15日時点で2007年度までの年会費納入済会員および2008年度新入会員）は893名でした。まず、郵送による理事・監事選挙が11月に行われました。返信された有効投票数は166通でした。この選挙で新理事候補24名および新監事候補2名が決まりました。新理事候補と新監事候補それぞれ各1名が辞退され、最終的に新理事24名と新監事2名が決まりました。次に、平成20年12月14日（日）の常任理事会において現常任理事会の推薦による推薦新理事12名が決められ、最終的に新理事36名が決まりました。その後、2009年1月から2月にかけて郵送による常任理事選挙が実施されました。常任理事就任辞退者が2名おりましたが最終的に新常任理事15名が決まりました。理事長選挙は、3月6日（金）に理事長選出のための会議を招集し、新常任理事11名（欠席者4名）の投票によって、森下高治氏が新理事長に決まりました。投票結果は、森下高治氏7票、内藤哲雄氏3票、谷口泰富氏1票でした。その席上で副理事長として藤田圭一氏が互選により決まりました。

理事・監事結果（敬称略、同投票数の場合は五十音順）

有権者数（投票用紙送付数）	893通*
返信封筒総数	166通
有効返信封筒数	160通
無効返信投票数	6通**

* 投票用紙1通は戻る。

** 封筒記名なし1通、内封筒封せず1通、期限後着4通

理事選挙投票数内訳		監事選挙投票数内訳	
投票総数	800票	投票総数	160票
有効投票数	723票	有効投票	149票
無効投票数	3票	無効投票	1票
白票数	74票	白票	19票

順	氏名	得票数	開票結果	
1	藤田主一	42	当選	承諾
2	浮谷秀一	39	当選	承諾
3	木村友昭	28	当選	承諾
4	森下高治	25	当選	承諾
5	岡村一成	24	当選	承諾
6	久我隆一	20	当選	承諾
7	所 正文	20	当選	承諾
8	大坊郁夫	18	当選	承諾
9	荻野七重	17	当選	承諾
10	内藤哲雄	17	当選	承諾
11	松田浩平	17	当選	承諾
12	蓮花一己	17	当選	承諾
13	森脇保彦	16	当選	承諾
14	田之内厚三	15	当選	承諾
	小野浩一	14	当選	辞退
15	細江達郎	14	当選	承諾
16	斎藤 勇	13	当選	承諾
17	川本利恵子	12	当選	承諾
18	蜂谷 真	12	当選	承諾
19	玉井 寛	11	当選	承諾
20	藤森立男	11	当選	承諾
21	井上孝代	9	当選	承諾
22	谷口泰富	9	当選	承諾
23	大淵憲一	8	当選	承諾
24	向井希宏	7	次点	承諾
	軽部幸浩	7	次次点	

25	荒木穂積	推薦	承諾
26	臼井伸之介	推薦	承諾
27	加藤博己	推薦	承諾
28	桐生正幸	推薦	承諾
29	田中真介	推薦	承諾
30	松浦常夫	推薦	承諾
31	太田博雄	推薦	承諾
32	松下由美子	推薦	承諾
33	星 薫	推薦	承諾
34	田中佑子	推薦	承諾
35	内山伊知郎	推薦	承諾
36	深澤伸幸	推薦	承諾

常任理事選挙結果（敬称略，同投票数の場合は五十音順）

有権者数（投票用紙送付数）	36 通
返信封筒総数	34 通
有効返信封筒数	34 通
無効返信投票数	0 通

理事選挙投票数内訳	
投票総数	510 票
有効投票数	418 票
無効投票数	0 票
白票数	92 票

	氏名	得票数	開票結果	最終
1	藤田主一	27	当選	承諾
2	浮谷秀一	26	当選	承諾
3	蓮花一己	25	当選	承諾
4	所 正文	20	当選	承諾
5	内藤哲雄	20	当選	承諾
6	向井希宏	20	当選	承諾
	岡村一成	19	当選	辞退
7	田之内厚三	19	当選	承諾
8	森下高治	19	当選	承諾
	荻野七重	18	当選	辞退
9	大坊郁夫	17	当選	承諾
10	川本利恵子	16	当選	承諾
11	田中真介	16	当選	承諾
12	藤森立男	16	当選	承諾
13	井上孝代	15	当選	承諾
14	玉井 寛	15	次点	承諾
15	谷口泰富	14	次次点	承諾
	松浦常夫	13	次次次点	
	細江達郎	12	次次次次点	

理事長選挙結果（敬称略，同投票数の場合は五十音順）

有権者数	15 票
投票総数	11 票

	氏名	得票数	開票結果	
1	森下高治	7 票	当選	承諾
	内藤哲雄	3 票	次点	
	谷口泰富	1 票		

注：得票数が同数の場合には、役員選出・選挙規程に基づき抽選によって決定しました。